

新規・継続等	新規	分野	補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築								
市町村名	長野市		ふりがな箇所名	(主)長野戸隠線		ますげ	ひまぎ 茂菅 ~ 弘瀬		事業年度	(完了年度は見込み) H23年度 ~ H32年度						
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路拡幅工 L=700m W=4.0(6.0)m					H22年度末事業進捗率		0%							
	H23年度以降降実施内容	同上					本工事費等ベース		0%							
	H23年度実施内容	道路拡幅工L=100m					用地補償費ベース		0%							
	事業費計(千円)	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降降						
	財源内訳	国庫支出金	300,000		0		0		30,000		300,000					
	その他															
	県債	270,000		0		0		27,000		270,000						
	一般財源	30,000		0		0		3,000		30,000						
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部		政策評価課					
									ランク	評点	ランク	評点				
	必要性 (30)	計画交通量	4,000台/日以上			1,500台以上~4,000台/日未満		1,500台未満		B	0	B	0			
		代替道路	唯一の道路である			代替となる道路がある								5	5	
		ネットワーク (道路網)	バス路線である			駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線		A及びBに該当しない						5	5	
			ボトルネック箇所			ボトルネック箇所でない								4	4	
		観光地に通じる道路			観光地に通じる道路ではない				2					2		
		各事業特有の必要性(安全の確保)			4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)		4.0m以上5.5m未満(幅員)		5.5m以上(幅員)					6	6	
		他事業との関連			歩道未整備区間に歩道を設置		歩道はあるが不十分であるものを再整備		歩道整備無し					0	0	
		小計												22	22	
	重要性 (10)	設計上の環境配慮	環境配慮がされ現実性が高い			環境配慮がされているが現実性が低い		環境配慮をしていない		B	3	B	3			
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(2個以上)			緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(1個以上)		特別な位置づけはない						3	3	
		小計												6	6	
	効率性 (20)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上			B/C 1.0~1.5未満		B/C 1.0未満		B	2	B	2			
		事業効果の早期発現	事業年数 3年以内			事業年数 4年~5年以内		事業年数 6年以上						7	7	
コスト縮減		全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。			部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		コスト縮減はしていない		14					14		
小計									14					14		
緊急性 (20)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる			交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない		A	6	A	6				
	各事業特有の緊急性(医療・福祉・教育)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)			医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に係らない道路						10	10		
	小計												16	16		
計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い			市町村からの要望		特に要望がない		B	6	B	6				
	事業情報の共有	関係者以外に広く周知			関係者中心に周知		特に周知していない						3	3		
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加			住民や市町村の意見を計画策定に反映		特に住民意見は反映していない						4	4		
	小計												13	13		
費用対効果(B/C)		2.2			評価の合計				B	71	B	71				
事業周 辺 環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は長野市街地から芋井地区を經由し戸隠村を結ぶ幹線道路であり、沿線地区の生活道路として、また観光道路としての性格を持つ路線である。長野市街と戸隠中心地を最短で結ぶバス路線であるが、長野市区間は幅員狭小、急勾配と改良が非常に遅れており、大型バスの往来が不能であるばかりか普通車同士のすれ違いも困難な状況であるため、早期の整備が必要である。														
	地域からの要望経緯	当路線全体について、長野戸隠線整備促進期成同盟会(H5.8.3)により整備促進の要望活動を行っているが、特に長野市区間については、さらに同同盟会芋井地区対策会議(H9)を発足させ、乗用車のすれ違い可能、大型観光バスの往来が可能となる改良について熱心な要望活動を行っている。														
	事業説明等の経緯	茂菅工区H21年3月に関係地区および地権者への事業説明済み。横棚工区H22年9月に関係地区および地権者への事業説明済み。														
	環境・景観への配慮項目	大型構造物の採用を極力控え、土羽構造にすることにより周辺との景観及び生態系に配慮。また極力、現道を利用するルートを検討したい。														
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。														
特記事項	長野戸隠線整備促進期成同盟会同盟会芋井地区対策会議を中心に、維持管理を住民参加で実施中。															
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他							
部意見	現状では乗用車のすれ違いもままならない状況であり、主要地方道としての機能を果たしていない。幅員狭小箇所を早期に改良する必要があり継続して事業を進めていきたい。				政策評価課		意見		緊急性が認められる。							